

総合政策部 政策課

1 組織、管理事務等の改正（令和7年度改正分）

令和7年度は、「こどもを核としたまちづくり」を本格稼働させるため、円滑かつ効率的な意思決定を図るとともに、適材適所の人材配置とあわせ、職員一丸となって市民本位のまちづくりに取り組むことに主眼をおいた組織体制とします。

- (1) 組織横断的な取り組みの強化 複数の部署が関わる市の重要プロジェクトを、スピード感を持って遂行していくに当たり、政策課に事業の総合調整や進行管理を行う係を設置します。
- (2) 用地取得と公有財産の処分、利活用の円滑な推進 総務部に、土地や物件の補償、契約、評価など用地対策課の業務と総務課の「管財・広告係」を統合した「財産管理課」を新設し、事業実施に当たっての用地の取得や公有財産の処分、利活用等を円滑に行う体制を整えます。
- (3) 人事の戦略化 採用、育成、配置などの人事業務を戦略的に行い、組織の生産性を高めることを明らかにするため、人事課を「人事戦略課」に名称変更し、持続的な行政サービスやまちづくりの質を向上できる体制づくりを行っていきます。
- (4) 活力ある地域づくりへの体制強化本市の農村地域・市街地・ニュータウンそれぞれの地域の実情に応じたまちづくりを展開し、地域の活性化に向け取り組むことを明確にするため、協働推進課を「地域づくり推進課」に名称変更し、部局横断で一体的に推進していきます。
- (5) 農業施策を推進する体制強化農業施策の一体的な推進と農業者や新規就農者の利便性の向上を図るため、農業委員会事務局を市長部局農業振興課に置き、相互に協力・連携し合える組織体制を構築します。
- (6) 魅力ある都市づくりの推進都市基盤等が利用者（住民、来訪者等）本位のものであることを明確にするため、都市政策課を「都市デザイン課」に名称変更し、都市の活力を生み出し、魅力ある都市を実現していきます。
- (7) 都市インフラの適正な管理の強化道路・公園について、適正な管理を担当する「管理課」と、新設改良、大規模修繕、施策方針や計画の策定を所管し、新たな公共空間の形成を図る「建設課」を設置することで、業務の効率化を図るとともに、新たな課題やニーズに柔軟に対処できる体制とします。あわせて、新たに上下水道部に「経営管理課」を置くことで、企業会計の適正な管理の強化により更なる経営の健全化を図ります。

- (8) スムーズな部活動の地域展開令和8年度の学校部活動の終了及び地域クラブ活動への完全移行に向けて、児童生徒・保護者・活動団体が安心して参画できるよう、教育委員会に新たに「地域クラブ推進課」を設けて体制整備を力強く進めます。
- (9) 係の設置原則として、各課に係を設置し、組織としてのミッションを明確化することで施策推進の強化を図るとともに、職務を通じたマネジメント能力の向上など人材育成の環境づくりを行い、持続可能な組織運営を図ります。

2 庁議等

(1) 政策調整会議

政策的な判断を要する論点の事前整理の場（開催29回、議題68件）

(2) 政策会議

各施策・事業の方針等に関する合議制による最高意思決定機関（開催28回、議題68件）

(3) 部長等連絡調整会議

意思決定事項について円滑に執行するための連絡調整を行う場（開催12回）

3 まちづくり基本条例の具体化の取り組み

(1) 三田市市政への市民参加条例の運用状況

前年度（令和5年度）に実施した市民意見を聴く手続の実施状況について検証し、公表を行った。

ア 市民意見を聴く手続の実施状況

| 対象事項（7条） | 市民意見を聴く手続（8条） |
|--|--|
| (ア) 市の憲章、宣言等 (イ) 市の総合計画その他市政における基本的な事項を定める計画等 (ウ) 市政における基本的な事項を定める条例 (エ) 義務を課し、又は権利を制限することを内容とする条例 (オ) 上記に掲げるもののほか、市民の生活に重大な影響を及ぼすおそれがあると市長等が認める制度、事業等 | ア 附属機関 （公募・名簿委員の割合が3割以上） イ パブリックコメント （30日以上） ウ 意向調査 エ ワークショップ オ 公聴会 カ 意見交換会 キ その他の手続 |
| <上記の例外> ・市税の賦課徴収その他金銭の徴収に関するもの ・市長等の裁量の余地がないもの ・市長等の機関内部の事務処理に関するもの ・関係法令の改正に伴う規定の整備その他軽易なもの ・緊急に行わなければならないもの | |

【運用状況】

| | 第4次三田市一般廃棄物処理基本計画中間見直し | さんだ生物多様性保全計画 | 三田市こども計画（第3期子ども・子育て支援事業計画） |
|-----------|---------------------------|---------------------------|--------------------------------------|
| 種別 | 基本的な計画 | 基本的な計画 | 基本的な計画 |
| 区分 | 改正 | 新規 | 新規 |
| 作業期間 | 令和4年度～令和5年度 | 令和4年度～令和5年度 | 令和5年度～令和6年度 |
| 計画期間等 | 令和5年度～令和9年度 | 令和5年度～令和12年度 | 令和5年度～令和9年度 |
| 市民意見を聴く手続 | 附属機関 パブリックコメント 意向調査 | 附属機関 パブリックコメント 意向調査 | 附属機関 パブリックコメント 意向調査 ワークショップ |

| | | | |
|-----------|--|--------------------------|---------------------------|
| | 第6次三田市障害者福祉基本計画・第7期三田市障害福祉計画・第3期三田市障害児福祉計画 | 第9期三田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 | 第3次三田市健康増進計画・第2次三田市自殺対策計画 |
| 種別 | 基本的な計画 | 基本的な計画 | 基本的な計画 |
| 区分 | 改正 | 新規 | 新規 |
| 作業期間 | 令和4年度～令和5年度 | 令和4年度～令和5年度 | 令和4年度～令和5年度 |
| 計画期間等 | 令和6年度～令和11年度 | 令和6年度～令和8年度 | 令和6年度～令和14年度 |
| 市民意見を聴く手続 | 意向調査 パブリックコメント | 意向調査 パブリックコメント | 意向調査 パブリックコメント |

| | | | |
|-----------|----------------------|--------------------|-------------------|
| | 三田市空家等に係る適切な措置に関する条例 | 三田市マンション管理適正化推進計画 | 三田市都市計画法施行条例 |
| 種別 | 義務を課し、権利を制限すること | 基本的な計画 | 基本的な計画 |
| 区分 | 新規 | 新規 | 改正 |
| 作業期間 | 令和5年度～ | 令和5年度～ | 令和4年度～令和5年度 |
| 計画期間等 | - | 令和5年度～令和9年度 | 令和5年度～ |
| 市民意見を聴く手続 | 附属機関 パブリックコメント | 意見交換会 パブリックコメント | 附属機関 パブリックコメント |

| | | |
|-----------|-------------------|-------------------|
| | 三田市地域公共交通計画 | 第2次三田市水道ビジョン |
| 種別 | 基本的な計画 | 基本的な計画 |
| 区分 | 改正 | 改正 |
| 作業期間 | 令和5年度 | 令和4年度～令和5年度 |
| 計画期間等 | 令和6年度～令和10年度 | 令和6年度～令和15年度 |
| 市民意見を聴く手続 | 附属機関 パブリックコメント | 意向調査 パブリックコメント |

イ 市政参加市民名簿の登録状況と活用実績

<名簿登録状況>

| | 発送数 | 登録者数 | | | | 名簿登載期間 (条例上 2年以内) |
|-----------|-------|------|-----|-----|---------------|-------------------------|
| | | 総数 | 男 | 女 | 備考 | |
| 令和 5年度 | 3,000 | 307 | 190 | 117 | 令和6年 3月末時点 | 令和7年 8月末まで |
| 令和 6年度 | 3,000 | 272 | 160 | 112 | 令和6年 3月末時点 | 令和8年 8月末まで |
| 計 | | 433 | 248 | 185 | | |

【市政参加市民名簿活用状況】(令和5年度・令和6年度)

附属機関等に選任 43人

ワークショップ等 4件

ウ まちづくり提案

0件

(2) 行政評価

前年度(令和5年度)に市が実施した事業内容や結果をもとに、第5次三田市総合計画基本計画に規定する全25施策及びデジタル田園都市国家構想交付金を活用する事業について事後評価を行った。

ア 対象

- ・第5次三田市総合計画基本計画に規定する施策(25施策)
- ・デジタル田園都市国家構想交付金を活用する事業(2事業)

イ 手法

- (ア) 市の実施機関による内部評価
- (イ) パブリックコメント ※意見0件
- (ウ) 行政評価委員会(附属機関)による外部評価

4 市民意識調査

(1) 目的

市民生活の基本的な意識を把握し、政策形成、施策運営の基礎資料とする。

(2) 調査の内容

ア 調査対象

市内に在住する18歳以上の市民3,000人

イ 抽出方法

住民基本台帳から地域ごとの人口分布などを考慮して無作為に抽出

ウ 配付方法

郵送

エ 回収方法

郵送（インターネットによる回答も可）

オ 調査時期

令和 6 年 7 月 1 日～ 7 月 3 1 日

カ 項目別調査

(ア) 第 5 次三田市総合計画の成果指標の進捗や今後の居留意向について

(イ) 「SDGs（持続可能な開発目標）」への関心や、まちづくりの各分野の満足度・需要度について

キ 調査結果

(ア) 設問数

全 2 5 問

(イ) 標本数

2 , 9 9 5 件

(ウ) 有効回収数

1 , 4 5 7 件（ 4 8 . 6 %）

※郵送 9 6 6 件、インターネット 4 9 1 件

秘書課

1 市長、副市長の秘書

- (1) 市長、副市長の日程調整及び随行
- (2) 市公式ホームページ「市長のページ」への日程、メッセージ等の掲載

2 渉外及び交際

(1) 三田市議員待遇者

三田市議会議員待遇者規則により、2期8年（通算）以上議員経験のある者に対し議員待遇者き章を贈呈し、規則に定める待遇を行う。

三田市議員待遇者数 22名

(2) 交際費（令和6年度執行状況）

| 内 訳 | 件 数 | 金 額 |
|--------|-------|----------------|
| 慶 祝 | 1 件 | 5, 0 0 0 円 |
| 弔 慰 | 1 0 件 | 1 6 8, 0 0 0 円 |
| 贈答・記念品 | 7 件 | 7 3, 4 8 3 円 |
| 接 遇 | 0 件 | 0 円 |
| 会 費 | 1 7 件 | 9 2, 7 0 0 円 |
| 計 | 3 5 件 | 3 3 9, 1 8 3 円 |

3 市の儀式、叙勲、褒章及び表彰

(1) 市制記念式典

令和6年度は開催なし。なお市制施行60周年（平成30年）までは、毎年7月1日の市制施行記念日に記念式典を開催し、あわせて三田市表彰の贈呈式を行っていたが、事業の見直しにより以後は節目の年に式典を行うこととした。

(2) 栄典（叙位、叙勲及び褒章）

地方自治功労に係る受章候補者の上申（春秋叙勲、死亡叙勲ほか）等を行う。

ア 叙勲・叙位

(ア) 春秋叙勲 0 件

(イ) 死亡叙勲・叙位 2 件（中西 博夫氏）（大月 勝氏）

イ 褒章 なし

(3) 三田市表彰、さんだチャレンジャーズアワード

三田市表彰規則に基づき、三田市表彰選考会を経て受賞者を決定し、表彰状及び副賞を授与する。平成30年度から市制施行60周年を記念し、新たな表彰制度「さんだチャレンジャーズアワード」を創設。

表彰選考会：令和6年5月15日（水）13時30分～（市長公室）

表彰：感謝と飛躍へのつどい

令和6年7月1日（月）16時30分～（本庁舎302会議室A）

令和6年度三田市表彰・さんだチャレンジャーズアワード受賞者（敬称略）

| 表 彰 | 功 勞・分 野 | 個 人 | 団 体 |
|-----------------|---------|-----------|---------------------|
| 三田市さつき賞 | 自治 | 馬場 基一 | |
| | 自治 | 武村 欽司 | |
| | 自治 | 山口 信夫 | |
| | 福祉 | 秋山 泰祐 | |
| | 福祉 | 氏木 義明 | |
| | 福祉 | 八十川 一三 | |
| | 産業 | 植井 敏人 | |
| | 産業 | 西村 欣祐 | |
| さんだチャレンジャーズアワード | スポーツ | 岡田 蒼空 | |
| | スポーツ | 奥平 湧 | |
| | スポーツ | 北浦 春香 | |
| | スポーツ | 広岡 宙 | |
| | スポーツ | 渕上 結太 | |
| | スポーツ | HINATA. M | |
| | 文化 | 荒谷 未生 | |
| | 文化 | | 兵庫県立北摂三田高等学校 放送部 |
| | 文化 | 黒崎 煌代 | |

4 市長会及び副市長会

令和6年度に市長及び副市長等が出席した主な会議

- (1) 全国市長会／総会：年1回、全国都市問題会議：年1回

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 6月12日 | 第94回全国市長会議（通常総会） （東京都・ホテルニューオータニ） |
|-------|--------------------------------------|

- (2) 近畿市長会：年1回

| | |
|------|----------------------------|
| 5月8日 | 近畿市長会総会（吹田市・パナソニックスタジアム吹田） |
|------|----------------------------|

- (3) 兵庫県市長会／総会：年2回

| | |
|-------|-----------------------|
| 4月18日 | 第1回総会（神戸市・神戸ポートピアホテル） |
| 8月7日 | 臨時総会（神戸市・神戸ポートピアホテル） |

| | |
|--------|-------------------|
| 10月 2日 | 第2回総会（明石市・アスパア明石） |
|--------|-------------------|

(4) 阪神・丹波市長会／年1回

| | |
|--------|---------------------|
| 11月21日 | 阪神・丹波市長会（芦屋市・海洋体育館） |
|--------|---------------------|

(5) 兵庫県副市長会／年2回

| | |
|-------|-----------------------|
| 4月12日 | 第1回副市長会（芦屋市・ホテル竹園） |
| 8月30日 | 第2回副市長会（書面審議）※台風接近のため |

(6) 阪神・丹波副市長会／年2回

| | |
|-------|--------------------|
| 8月 1日 | 第1回副市長会（芦屋市・ホテル竹園） |
| 1月31日 | 第2回副市長会（芦屋市・ホテル竹園） |

(7) 県・市町懇話会／年2回

| | |
|--------|---------------------|
| 4月23日 | 第1回県・市町懇話会（神戸市・県公館） |
| 11月26日 | 第2回県・市町懇話会（神戸市・県公館） |
| 1月24日 | 第3回県・市町懇話会（神戸市・県公館） |

5 名誉市民

三田市名誉市民条例に基づき、公共の福祉の増進他の功績が卓絶する者に対して、議会の同意を得て市長が決定し贈る称号である。三田市名誉市民証及び三田市名誉市民章をあわせて贈呈する。また、市長は特に親善その他の目的で市の賓客として来訪した者に対し、三田市特別名誉市民の称号を贈ることができる。三田市特別名誉市民証及び記念品をあわせて贈呈する。

- (1) 三田市名誉市民 受章なし
- (2) 三田市特別名誉市民 受章なし
- (3) 過去の受章者

| 称号 | 年度 | 受章者 |
|--------|------|--|
| 特別名誉市民 | 平成11 | コリーン・カイク氏 （オーストラリア・ブルーマウンテンズ市） |
| | | ジェリー・ウィリアムズ氏 （アメリカ合衆国・キティタス郡） ※平成25年7月逝去 |
| | | 宋奉奎氏（大韓民国・北済州郡、現済州市） ※令和5年12月逝去 |

広報広聴課

1 広報誌の発行

広報誌「広報さんだ」を発行する

(1) 広報誌「広報さんだ」の発行状況

ア 発行日 : 毎月1日に定期発行(年間12回)

イ 内 訳 : 32ページ(全頁カラー 4回)

36ページ(全頁カラー 6回)

40ページ(全頁カラー 2回)

ウ 規 格 : A4判冊子型

エ 発行部数 : 48,900部(R7.3月現在)

オ 全戸配布数 : 47,315部(R7.3月現在)

※配布については、三田市シルバー人材センターへの宅配委託事業で平成25年度から実施

(2) その他の媒体を使った広報誌の配布

ア 市ホームページ

広報誌を掲載(PDFファイル)

イ 声の広報

音訳ボランティア「ともしび」により、毎号の内容をCDに吹き込み、視覚障害者へ声の広報として届けている。

ウ 「ユニバーサル」広報

市政情報やくらしの情報などを動画(音声・字幕・手話あり)で発信。市ホームページに掲載するほか随時Facebookへの投稿を行う。また、上記イの音声データを市ホームページに掲載(R1.8~)。下記エも「ユニバーサル」広報の一環として導入。

エ 多言語対応アプリ「カタログポケット」

広報誌「広報さんだ」を9言語の音声読み上げ、自動翻訳するアプリを活用して配信。(R2.9~)

オ マチイロ

スマートフォンで各自治体の広報誌やニュースを閲覧できるアプリに、広報誌を掲載(PDFファイル)。

カ マイ広報誌

自治体等が発行する広報誌を記事ごとにデータ化(文字情報のみ)し、インターネットで無料配信するサービスに、広報誌を掲載(PDFファイル)。

キ HYOGO ebooks

兵庫県内の電子書籍を無料で閲覧できる、地域特化型電子書籍ポータルサイトに、広報誌を掲載(PDFファイル)。

(3) 広報モニター制度の活用

人数：公募の市内在住・在勤・在学の16歳以上 465人（R7.3月現在）

内容：広報誌に対するアンケート回答

2 ホームページ等を活用した広報

(1) 「ホームページ」

令和4年3月31日に、「知りたい情報を見つけやすく」をコンセプトに三田市公式ホームページをリニューアル。最新情報を分かりやすく発信、三田市の魅力を市内外に向けてPR。トップページに「サイト内検索」や「簡単手続き検索ナビ」なども配置。

アクセス数：5,454,944件/年、454,580件/月平均

(2) 「フェイスブック」

平成23年10月から市公式Facebookを開設。市ホームページの補完的位置付けとし、イベント情報や動画など、交流促進につながる魅力ある情報を発信している。災害時などは、緊急情報なども発信する。

(3) 「三田市LINE公式アカウント」

令和3年10月18日から「暮らしに役立つ情報を届ける」というコンセプトのもと、緊急情報の一斉通知や、利用者の属性や希望する情報に応じたプッシュ型の情報配信で活用。

友だち登録者：14,592件（R7.3.31現在）

3 広報掲示板を活用した広報

公共施設や公園、主要各駅ターミナルに設置した広報掲示板（32カ所）に、市のイベントや啓発ポスターなどを掲示している。

貼付ポスター：年間24種類

4 新聞やテレビ・ラジオなどを通しての広報

(1) 市長記者会見（15回）、記者発表

(2) 週間行事予定表の配布

(3) 市政記者クラブ、テレビ、ラジオの取材協力

5 その他の広報

ニュースダイジェストの作成

6 案内地図「わがまちさんだ」の配布（R4.11月発行）

市内案内用地図と三田の魅力や取り組みの紹介、市内7事業者の有料広告を掲載

(1) 発行部数：20,000部

(2) 活用：転入者に配布、公共施設の窓口で希望者に配布、各市視察・

会議等で配布

7 市政刊行物の発行状況の把握

市政刊行物の発行状況等を把握するため登録番号を付し、効果的な広報の推進を図る。

- (1) 登録件数：116件
- (2) 登録内容：カード類3件、広報誌6件、小冊子20件、書籍7件、チラシ34件、ポスター21件、リーフレット24件、ステッカー1件

8 市政出前講座

市民の要請により市職員が出向き、市政のしくみや制度、手続き、事業などをわかりやすく説明し意見交換をする中で、市民の市政理解や関心を高め、行政と市民の協働のまちづくりを推進する。

[事業概要]

- (1) テーマ数：46項目
- (2) 開催方法：市民主体の講座として開催。市民が各講座の担当課に申し込み、調整のうえ開催
- (3) 開催実績：83回 2,197人が参加
- (4) 主な受講テーマ：「いざという時に備えて」、「消費者トラブルを知って、被害を防ごう」、「健康講座」など
- (5) 主な受講団体：生涯学習カレッジ関係、地縁団体(自治会、老人会)など

9 市民の声の受付・処理

(1) 陳情・要望

ア 種別受理件数

| 種別 | 自治会関係 | その他団体 | 市外団体 | 議会会派 | 合計 |
|----|-------|-------|------|------|----|
| 件数 | 4 | 11 | 5 | 0 | 20 |

イ 地区別受理件数

| 地区名 | 三田 | 三輪 | 広野 | 小野 | 高平 | 藍 | 本庄 | フラワ | ウツ | カル | 市内 | 市外 | その他 | 合計 |
|-----|----|----|----|----|----|---|----|-----|----|----|----|----|-----|----|
| | 田 | 輪 | 野 | 野 | 平 | | 庄 | ー | デー | ル | その | 外 | 他 | |
| 件数 | 1 | 2 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 1 | 4 | 0 | 4 | 5 | 0 | 20 |

(2) 市長への手紙(わたしの提案)

令和5年10月より「田村克也市長への手紙」を開始し、従来からの「わたし

の提案」と2つを運用していたが、令和6年11月1日より「田村克也市長への手紙」と「わたしの提案」を統合し、「市長への手紙（わたしの提案）」を運用開始。

ア 年度別件数経過

| 年 度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 件 数 | 405 | 283 | 264 | 226 | 360 |

イ 令和6年度中の提案等の受理件数

| | |
|-------------------------|------|
| (ア) 提案はがき | 50件 |
| (イ) わたしの提案コーナー（市ホームページ） | 133件 |
| (ウ) その他 | 177件 |

(3) 田村克也市長への手紙

ア 年度別受付別件数

| 年 度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|--------|-------|-------|
| ホームページ | 191 | 58 |
| 郵送、窓口 | 121 | 63 |
| 合 計 | 312 | 121 |

※令和6年度は、統合のため令和6年10月31日までの件数。

10 オンブスパーソン

(1) 事務局への制度に関する問い合わせ 4件（窓口4件・電話0件・メール0件）

| | | |
|-------------|----|-------------------------------------|
| 意見等申立ての相談 | 4件 | 内容が意見等の申立てに馴染むかどうかの確認。調査しない事項の範囲 など |
| 制度に関する質問 | 0件 | |
| 制度に対する意見・批判 | 0件 | |

(2) 意見等の申立て0件（調査実施0件・調査しない事項0件）

| 内容 | 件数 |
|----------------------------------|----|
| ① 申立ての趣旨に沿ったもの（勧告・意見表明） | 0 |
| ② 申立ての趣旨に一部沿ったもの（勧告・意見表明） | 0 |
| ③ 申立ての趣旨の当否まで判断する必要がなく、事件が終了したもの | 0 |
| ④ 申立ての趣旨に沿えなかったもの | 0 |
| ⑤ 継続中 | 0 |
| 調査しない事項（すでに処理が終了している事項）に該当したもの | 0 |
| 合 計 | 0 |

移住定住促進課

1 産官学地域連携推進事業

学生（若者）、事業者、大学、地域等が連携してまちづくりに取り組むための仕組みづくりを行った。

(1) 学びのまち・三田推進事業

市内外の学生が三田のまちに集い、学生の自由な発想に基づいた自主的な活動が活発に行われる「学生が成長できるまち三田」を目指した事業を実施。

ア 三田市学生まちづくり活動費補助

採択団体 : 5 団体

補助金 : 103,000 円

イ 三田ガクチカ FES（スモカモス発表会・カフェスタイル交流会・三田学生サミット）

企画・実施 : 一般社団法人イヒ・こみんか学生拠点

日時 : 令和7年2月9日（日）

場所 : ウッディタウン市民センター

発表団体 : 25 団体（うち、カフェ協力3 団体）

参加者 : 153 人（高校生32 人、大学生55 人、一般66 人）

ウ 若者のまちづくり検討会議

本市の若者のまちづくり施策について議論し、若者のまちづくりの機運を醸成することを目的として、検討会議を設置。

日時：令和6年12月12日（木）、令和7年1月23日（木）、令和7年3月14日（金）

メンバー構成：ファシリテーター1 人、社会人8 人、学生6 人

(2) 地域活躍人材育成プログラム（三田スモカモス・プロジェクト）

市内の企業等が抱える課題解決を通じて大学生が地域社会との接点を持ち、大学生自身が三田市を舞台に「本当にやりたいこと」を発見・実現する方法を考え、実践に導くことにより、若者が地域に関わり三田に愛着を持つことで定住・Uターン志向の醸成につながるモデルの確立を目指す。

参加人数：22 人（前期：11 人／後期：11 人）

協力企業：8 社

ア ワークショップ

日程：前期：令和6年6月15日（土）、7月6日（土）、9月7日（土）、後期：10月26日（土）、11月17日（日）、2月8日（土）

イ 学生の市内企業 活動体験（前期：8月、後期：12月～1月）

ウ 成果発表会

日程：前期令和6年9月28日（土）、後期2月9日（日）

(3) 青少年健全育成事業（二十歳を祝う会）

日時場所：令和7年1月12日（日）郷の音ホール

対象：平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれの者

対象人数：1,125 人 参加者：820 人

※従来通りの1部制で実施。

その他：企画・運営のアイデアとサポートを求めるために「二十歳を祝う会サポーター」を募集。一部企画の検討や代表あいさつ等を行った。

2 移住UIJターン促進事業

- (1) 移住ポータルサイト（さんだうえるかむサイト）の運営
- (2) 移住相談窓口「Sanda 住まいる」

三田を広くアピールし、新たな移住定住ニーズに応えるため、一元的な移住定住相談窓口を設置している。令和6年度は271件の相談（窓口・電話・オンライン相談）があった。

- (3) さんだ住まいるチームメンバー

三田市に転入（移住）を希望する方や関心をもっている方の相談員として移住キャンペーン等に参加するとともに、主に市外への広報員として市の魅力や移住に関する情報の発信を行い、移住・交流の促進を図る。

構成：三田の魅力積極的に伝えたい方 26人（新規5人、継続21人）

任期：令和6年9月～令和7年8月

活動実績：意見交換会（オンライン、対面） 実施日：令和6年5月12日（日）、令和6年12月7日（土）

オンライン移住相談対応、移住フェアへの出展、オーダーメイドさんだツアー対応、三田市移住定住施策へのアドバイス

- (4) オーダーメイドさんだツアー

三田市への移住を検討されている方に、個々のニーズに合わせたオーダーメイド型の移住体験ツアーを実施。

件数：17件

- (5) 移住促進

ア 出張移住相談、首都圏でのPR強化

① 令和6年5月18日（土）出張相談会 @大阪ふるさと暮らし情報センター
参加人数：7人

② 令和6年6月15日（土）移住セミナー @大阪ふるさと暮らし情報センター
参加人数：4人

③ 令和6年7月13日（土）出張相談会 @大阪ふるさと暮らし情報センター（※猪名川町と合同開催）
参加人数：4人

④ 令和6年7月31日（水）オンライン移住相談会 東京ふるさと回帰支援センター（オンライン）
参加人数：3人

⑤ 令和6年8月22日（木）オンライン移住セミナー 東京ふるさと回帰支援センター（※朝来市と合同開催・オンライン）
参加人数：17人

⑥ 令和6年10月19日（土）出張相談会 @移住・交流情報ガーデン

参加人数：2人

- ⑦ 令和6年11月16日（土）兵庫五国移住・交流フェア @難波御堂筋ホール

参加人数：16人

- ⑧ 令和7年1月30日（木）オンライン移住相談会 東京ふるさと回帰支援センター（オンライン）

参加人数：0人

- ⑨ 令和7年2月16日（日）兵庫五国移住・交流フェア @東京交通会館

参加人数：23人

イ 連携・共同出展

- ① 令和6年8月24日（土）one music camp（まち博）

場所：三田アスレチックパーク

参加人数：70人

- ② 令和6年10月13日（日）マルシェ&ワークショップイベント

場所：ディアモール大阪

参加人数：来場者多数

- ③ 令和6年11月2日（土）令和6年度ひょうご北摂魅力いっぱいフェア

場所：ディアモール大阪

参加人数：来場者多数

ウ 住宅情報誌に掲載

大阪駅を含む関西主要都市で情報誌を活用したPRを実施。

5.5万部配布（12月下旬～1月上旬）

- (6) オンライン移住体験ツアー

ア 「“トカイナカナ街”さんだでの暮らしに迫る～新しい暮らしを、三田で～」

日程：令和7年3月9日（日）

内容：実際に三田で活躍されているゲスト3組に出演いただき、まちの魅力を紹介する。豊かな自然や地域資源が生み出すライフスタイルを体感してもらうツアー。

参加人数：9人

- (7) 魅力発信

SNSに訴求力のあるショート動画の作成やインフルエンサー等との協働で、移住定住のインスタグラムに投稿。

フォロワー数：775（令和7年3月30日時点）

- (8) NPO法人空き家相談センターとの連携

良質な住宅ストックが世代を超えてつながることで、オールドタウン化抑制と農村部の活性化を図るため、空き家・中古住宅(住宅ストック)の活用の推進を図る。

ア 空き家流通会議 12回（毎月第2火曜日）（対面、書面）

イ 住まいを考えるセミナー

- ① 日程：令和6年7月23日（火）

場所：まちづくり協働センター 多目的ホール

参加人数：23人

個別相談件数：4件

- ② 日程：令和6年9月24日（火）
場所：フローラ 88 フローラホール
参加人数：2人
個別相談件数：1件
- ③ 日程：令和7年2月28日（金）
場所：藍市民センター 視聴覚室
参加人数：15人
個別相談件数：2件

ウ 住まいを考える出張セミナー

- ① 日程：令和6年11月27日（水）
場所：フローラ 88
参加人数：3人
- ② 日程：令和7年1月29日（水）
場所：フローラ 88
参加人数：7人
- ③ 日程：令和7年2月23日（日）
場所：母子（永沢寺内）
参加人数：25人

エ 住まいの相談会

日程：令和6年4月17日（水）以降、毎月第3水曜日
年間相談件数：25件

(9) 三田移住支援事業補助金

兵庫県と共同で国の交付金を活用した、東京圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）からの移住を伴う就業・起業家に対する補助金。

対象：東京圏から三田市へ移住し、該当の中小企業へ就職した者、起業した者等
補助額：世帯の場合は100万円、単身の場合は60万円
実績：8件（9,300,000円）

(10) うえるかむ三田支援事業補助金

三田市への移住を検討するために、三田市に宿泊する者に対する補助金。

対象：近畿圏外（大阪、京都、滋賀、奈良、和歌山、兵庫）から、移住を目的に三田市を訪問する者
補助額：1人1泊につき10,000円（上限1泊、1世帯2人まで）
実績：9件（124,970円）

(11) 住み替え支援事業補助金

市内の指定地域で新築・中古住宅を購入する若年世帯等への補助金。

補助額：最大20万円（基礎上限額10万円。市外転入の場合5万円、市外化調整区域の場合5万円加算）
実績：90件（11,350,000円）

(12) 結婚新生活支援補助金

市内で新生活をスタートさせる新婚世帯のスタートアップ費用を支援。

補助額：夫婦ともに婚姻時の年齢が 29 歳以下の場合、最大 60 万円

夫婦ともに婚姻時の年齢が 39 歳以下の場合、最大 30 万円

実績：32 件（10,376,000 円）

(13) 婚活支援事業援補助金

結婚を望む方への多様な出会いの機会を創出する事業を支援。

補助額：最大 5 万円

実績：1 件（50,000 円）

(14) さんだ出会い・結婚応援プロジェクト

結婚をまだ意識していない人、少し意識し始めた人、結婚を考え始めたカップルなど階層を分けた事業に取り組みを実施。

ア ワークショップ

日程：令和 6 年 9 月 14 日（土）、10 月 26 日（土）、11 月 23 日（土）、12 月 7 日（土）

イ 参加者：合計 71 名

(15) 若者のためのワークライフマネジメント座談会

若者が仕事とプライベート、結婚、子育てに感じる漠然とした不安を解消し、将来のライフスタイルを具体的に描けるようサポートすることを目的とし、市内企業に勤務している若者などを対象に座談会を開催。

ア ワークショップ

日程：令和 7 年 2 月 7 日（金）

イ 参加者：9 名

公民連携推進課

1 産官学地域連携推進事業

高等教育機関や企業等が有する豊かな人的、知的、物的資源を地域社会の課題解決に活かすため、市内外の大学、企業等と取り組みを進めた。

(1) 関西学院大学

「連携協力に関する協定」に基づき、下記事業を実施した。

ア 授業

① 「情報化社会と人間」:

三田市をフィールドに、学生が地域課題の解決策を考える総合政策学部等 1~2 回生対象の授業に当課職員が助言者として参加。

② 「政策コンサルティング演習」:

三田市をフィールドに、学生が地域課題を発見し、課題解決のための調査研究を進め、三田市に政策提案を行う。当課職員が助言者として参加。

イ その他、市との連携・協力事業 30 件

ウ オープンセミナー

① 春季

日時：令和 6 年 6 月 1 日（土）、6 月 29 日（土）、7 月 13 日（土）

場所：まちづくり協働センター 多目的ホール

参加人数：433 人

② 秋季

日時：令和 6 年 10 月 5 日（土）、11 月 2 日（土）、11 月 30 日（土）

場所：まちづくり協働センター 多目的ホール

参加人数：326 人

(2) 湊川短期大学

「連携協力協定」に基づき、連携・協力事業 8 件を実施した。

ア 市民大学 三田市と湊川短期大学の共催による市民向け講座

日時：令和 6 年 9 月 3 日（火）

場所：湊川短期大学 401 教室

参加人数：50 人

※令和 2 年度から令和 5 年度にかけ、新型コロナウイルスの影響で開催中止

イ その他、市との連携・協力事業 8 件

(3) その他の主な連携協定

ア 大学等(連携事業件数)

① 神戸親和大学 (5件)

② 神戸医療福祉専門学校三田校 (3件)

③ 兵庫教育大学 (6件)

④ 神戸大学 (11件) (令和6年8月9日協定締結)

イ 企業

① イオン株式会社 (令和6年12月25日協定締結)

- ② 神姫バス株式会社（令和7年3月25日協定締結）
- ③ 生活協同組合コープこうべ（令和7年3月26日協定締結）

ウ 食品無償支援

昨年度に引き続き、株式会社フジ、アイリスオーヤマ株式会社から期限前食材等の提供を受け、市内子ども食堂へ食材支援を行った。

2 SDGsの推進

2015年に国際連合総会で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）が目指す「誰ひとり取り残さない」「持続可能」「パートナーシップ」という理念は、第5次総合計画によるまちづくりの理念と共通しており、SDGsの達成にもつながる様々な取り組みを進めている。令和5年度には、内閣府から「SDGs未来都市」に選定された。

(1) 市民へのSDGs参加型普及啓発

ア SDGs 関連イベントへの参画

① さんだサイエンスフェスティバル

実施概要：市民へのSDGsの啓発を目的とした展示を実施

② Friendship Day in SANDA

実施概要：人権・国際交流をテーマとしたSDGsクイズラリーを実施
(92名参加)

③ さんだ桜まつり

実施概要：会場周辺を周遊しながら、桜並木を守る意義を伝えるためのLINEを活用した謎解きイベントを実施（169名参加）

イ 「わたしのSDGs宣言」のオンライン化

SDGsの視点で日常を振り返り、生活の中で自ら実践したい取り組みを宣言等する「わたしのSDGs宣言」を、業務アプリ構築サービスを活用し、令和7年度からオンライン投稿で完結できるよう準備を進めた。

3 ふるさと納税

ふるさと納税制度を活用し、寄附のお礼として本市ならではの地域のお品を返礼品として贈ることで、本市の魅力为全国へ向けて発信している。また、ふるさと納税型のクラウドファンディングを活用して、全国的に特色ある事業や三田ならではの事業を中心に、本市の魅力発信をしている。

【令和6年度全体実績】

寄附実績 313,598,180円（8,818件）

お礼の品 280品、応援事業者 73事業者

(1) ありがとう！三田っ子応援寄附

受け入れた寄附金は、「ありがとう！三田っ子応援基金」に積み立て、子どもの教育、子育て支援事業等へ活用している。

① 寄附状況 298,289,480円（8,545件）

(2) ふるさと納税型クラウドファンディング

受け入れた寄附金は、各々の事業の促進のために活用している。

① 寄附状況 15,308,700円 (273件)

② 寄附内訳

| 事業名 | 件数 | 金額 |
|--------------------------------|------|-------------|
| ふるさと三田を愛し、夏の思い出として心に残るまつりにしたい! | 102件 | 2,732,000円 |
| 人も猫も幸せな三田市をめざして『TNR活動推進プロジェクト』 | 62件 | 1,036,700円 |
| 三田で見られる桜を守り続けたい!三田さくら物語プロジェクト | 109件 | 11,540,000円 |

4 企業版ふるさと納税

国が認定した地方公共団体が行う地方創生プロジェクトに対し、企業が寄附を行った場合に、税額控除の優遇措置（「地方創生応援税制」）が受けられる制度を活用し、企業から寄附を募り、地方創生の取り組みに活用している。

【企業版ふるさと納税寄附状況】

| 年度 | 寄附件数 | 寄附額 |
|-------|------|------------|
| 令和2年度 | 2件 | 376,328円 |
| 令和3年度 | 7件 | 5,300,000円 |
| 令和4年度 | 6件 | 4,600,000円 |
| 令和5年度 | 13件 | 5,500,000円 |
| 令和6年度 | 14件 | 7,200,000円 |

地域医療推進課

1 新病院整備関連事業

医師の確保や施設の老朽化等の課題を解決し、市民の命を将来にわたって守り抜くため、三田市民病院と済生会兵庫県病院を再編統合し、新病院を整備することにより、この地域の医療水準の維持・向上を目指す取組みを進めた。

(1) 新病院基本計画等策定

高齢化に伴う医療需要の増加等を見据え、三田・北神地域の急性期医療の充実を図るため、新病院の詳細な医療機能等を定めた基本計画を策定した（令和7年2月）。

(2) 新病院整備に伴う市内交通影響等調査

将来交通量の推計、影響交差点の抽出、交通課題の整理等により、病院移転に伴う市内交通への影響調査、対応方針の検討を行った。

(3) 新病院整備候補地基礎調査

新病院の整備候補地に係る用地測量、境界確認及び土地収用法に基づく事業認定の事前相談、申請図書を作成等を進めた。

(4) 新病院基本設計基礎調査

新病院の基本設計に必要な課題を整理し、各種調査業務及び各種申請に係る事前協議を実施した。また、建築及び土木工事の基本設計に必要な条件を取りまとめた。

2 現三田市民病院跡地活用関連事業

現三田市民病院の跡地活用に関する地域課題の抽出、調査及び基本方針等の策定を行い、現三田市民病院跡地を有効活用することを目的とした取組みを進めた。

(1) 「現三田市民病院跡地活用基本方針（案）」に関する市民意見交換会開催

開催日時及び参加人数

| 日 | 時間 | 人数 | 場所 |
|---------|------------|----|---------------|
| 6/15（土） | 10時～11時30分 | 6 | 有馬富士共生センター |
| 6/26（水） | 10時～11時30分 | 7 | 広野市民センター |
| 6/27（木） | 13時30分～15時 | 17 | まちづくり協働センター |
| 6/30（日） | 10時～11時30分 | 42 | ウッディタウン市民センター |
| 合計 | | 72 | |

(2) 現三田市民病院跡地活用基本方針（案）に関するパブリックコメント

① 実施期間

令和6年6月1日（土）～6月30日（日）

② 閲覧方法

地域医療推進課、暮らしの情報コーナー（市役所本庁舎1階）、市民センター、まちづくり協働センター、市ホームページ

③ 意見の提出人数

4人（メール：1人、ロゴフォーム：3人）

④ 意見の概要

| 項目 | 内容 | 件数 |
|-----------|----------------|----|
| 導入を想定する機能 | 外来機能を充実させてほしい等 | 4件 |
| 合計 | | 4件 |

(3) 「現三田市民病院跡地活用基本方針」の策定（令和6年7月、令和7年2月修正）

上記「市民意見交換会」と「パブリックコメント」での意見を参考に、市民が安心して医療を受け続けられるようにするため、現三田市民病院跡地活用の基本的な考え方を示した「現三田市民病院跡地活用基本方針」を策定した。

※なお、令和7年2月、新病院基本計画の発表により、スケジュール等を一部変更した。

(4) 現三田市民病院跡地活用事業者選定

現三田市民病院の施設等を有効に活用し、市民サービスの向上を図るため、現三田市民病院における事業者選定にあたり、第三者の有識・学識者等から構成される附属機関「現三田市民病院跡地活用事業者選定委員会」を設置し、「現三田市民病院跡地活用基本方針」に基づき、選定の基準や事業者選定に向けた審議を進めた。

3. 医療人材育成事業

医療に対する興味と関心を喚起し、医療関係への進路選択を推奨することで、地元で働く未来の医療人材の育成につなげることを目的として、神戸大学と協力し、中学生・高校生に対し、下記の事業を実施した。

(1) 「SANDA CAREER CAMPUS」の開催

① 開催日

令和6年12月22日（日曜日）10時00分～17時00分

② 実施場所

ウッディタウン市民センター

③ 対象者

中学生・高校生、その保護者

④ 参加人数

303名

⑤ 開催内容

神戸大学教授による講演、医療従事者と現役神戸大学院生によるパネルディスカッション、三田市民病院の医療従事者等による体験ブースを実施した。

(2) サイエンスツアー「Medical Day」の開催

① 開催日

令和7年3月9日（日曜日）10時00分～16時30分

② 実施場所

神戸大学医学部保健学科・神戸大学大学院保健学研究科（神戸大学名谷キャンパス）

③ 対象者

市内在住・在学の高校生

④ 参加人数

12名

⑤ 開催内容

神戸大学教授による模擬講義、実験・研究等